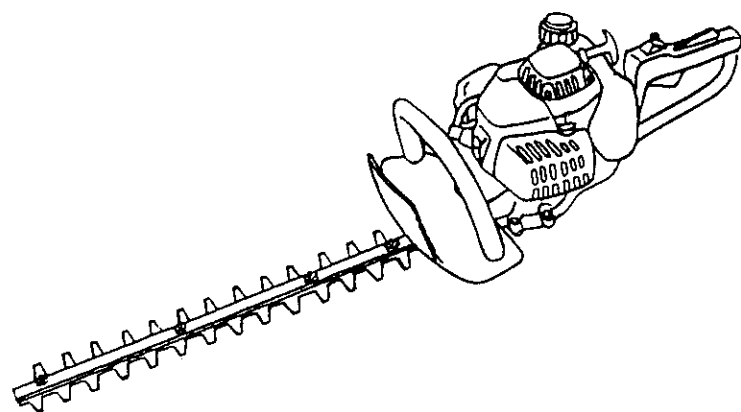




エンジンヘッジトリマ

モデルEH451

取扱説明書



目次

| | |
|---------------------|----|
| ●国内排出ガス自主規制について | 2 |
| ●シンボルマークについて | 3 |
| ●エンジン製品の安全上のご注意 | 4 |
| ●エンジンヘッジトリマの安全上のご注意 | 7 |
| ●仕様 | 8 |
| ●各部の名称 | 8 |
| ●使用準備 | 9 |
| コントロールケーブルの調整 | |
| ●運 転 | 9 |
| 1. 燃料の給油 | |
| 2. 始動方法 | |
| 3. 停止方法 | |
| ●刈込作業 | 11 |
| 正しい作業方法 | |
| ●点検と整備 | 13 |
| 1. 刃スライドスクリューの調整 | |
| 2. エアクリーナの清掃 | |
| 3. スパークプラグの点検 | |
| 4. 冷却風通路の清掃 | |
| 5. キャブレタ(気化器)の調整 | |
| 6. マフラ排気出口の清掃 | |
| 7. グリスの補給 | |
| ●格納方法 | 16 |
| ●保守のスケジュール | 16 |
| ●保証書 | 19 |

このたびはマキタエンジンヘッジトリマをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- ・お求めの製品を安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前に取扱説明書をよくお読みください。
- ・この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

国内排出ガス自主規制について



このラベルは、(社)日本陸用内燃機関協会の小形汎用ガソリンエンジン排出ガス自主規制に適合していることを示しています。

(社)日本陸用内燃機関協会：陸用エンジン業界の健全な発展と最新技術の開発を図り、併せて関連する諸製造業界の発展にも寄与することを目的とする団体です。

本協会は、小形汎用ガソリンエンジンの排出ガス中の有害物質を低減する自主規制に取り組んでいます。









自主規制の内容については、下記のホームページにてご覧頂けます。

<http://www.lemma.or.jp/>




(H15.1現在)


シンボルマークについて


製品および取扱説明書にシンボルマークを掲載しております。このシンボルマークの意味をご理解のうえご使用ください。


| | | | |
|--|-----------------------------|--|---|
|  | 使用前に必ず取扱説明書を読んで正しく使用してください。 |  | 換気の悪い場所では運転しないでください。 |
|  | 混合燃料を入れてください。 |  | 燃料の混合、給油および機械を使用するとき、手入れをするときなどは、タバコを吸わないでください。 |
|  | エンジンを停止してください。 |  | 燃料の混合、給油および機械を使用するとき、手入れをするときなどは、火気を近づけないでください。 |
|  | 作業中は保護メガネを着用してください。 |  | 作動している刈刃には手や顔、衣服などを近づけないでください。 |

注意文の 警告 注意 注 の意味について


ご使用上の注意事項は  警告 と  注意  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警告 : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 注意 : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 注 : 製品および付属品の取り扱い等に関する重要な注意。

エンジン製品の安全上のご注意

- ・引火、火災、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「エンジン製品の安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「エンジン製品の安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



警告

1. ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき、内容を十分ご理解のうえ、ご使用ください。
 - ・機械の取り扱い知識が不十分な場合、事故の原因になります。



2. 次のときは機械を使用しないでください。事故の原因になります。

- ・疲れているとき、身体が不調なとき。
- ・酒類や薬物を飲んで正常な運転操作ができないとき。
- ・夜間の使用。
- ・妊婦による作業。



3. 身体を冷やさなような服装で作業してください。

4. 保護帽(ヘルメット)、耳栓、保護メガネ、防振性のよい手袋、滑り止めの付いた安全靴、手ぶくる等の保護具を着用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



5. 燃料の取り扱いには十分注意してください。
 - ・燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

6. 引火、火災の恐れがあります。
 - ・燃料の混合および給油をするときは火気のない所で行ってください。
 - ・燃料の混合、給油および機械を使用するとき、手入れをするときなどはタバコを吸ったり、火気を近づけないでください。



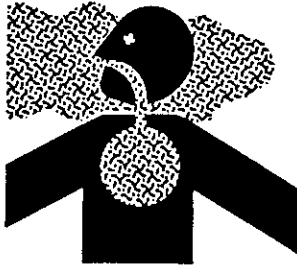
- ・燃料を給油および燃料を抜くときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。



警告

- ・燃料はこぼさないように注意してください。こぼれたときは、きれいに拭き取ってください。
- ・燃料の給油をした場所でエンジンを始動させないでください。少なくとも3m以上離れてください。
- ・ガソリン、ガス、塗料、接着剤など引火性のある物の近くでは、使用しないでください。
- ・マフラの排気口付近は高温になりますので、燃えやすいものは近づけないでください。

7. エンジンの排気ガスは有害です。屋内、トンネル内など通気の悪い場所で使用しないでください。
- ・通気の悪い場所で使用すると排気ガス中毒の原因になります。



8. 始動時および使用中には、プラグキャップ部に手を触れないでください。
- ・感電する恐れがあります。

9. 作業場は十分明るくしてください。
- ・暗い場所での作業は事故の恐れがあります。

10. 次の場合はエンジンを停止させてください。



- ・移動する場合
- ・使用しない、または修理する場合。
- ・刃スライドスクリュウ等の調整をする場合。
- ・その他危険が予想される場合。

本体が作動して、けがの恐れがあります。

11. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・本取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。
- 事故やけがの原因となる恐れがあります。



注 意

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に損傷した部品がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
2. 調節キーやレンチなどは必ず取りはずしてください。
 - ・付けたままでは使用時に飛び出して、けがの原因になる恐れがあります。
3. エンジンの始動は安定のよい場所で行ってください。
 - ・事故の原因になります。
4. 騒音に関しては、法令および各都道府県の条例で定める騒音規制があります。状況によって、しゃ音壁を設けて作業してください。
5. 使用中およびエンジン停止直後は、マフラなどの高温部に身体が触れないように注意してください。
 - ・やけどの原因になります。
6. 点検整備するときはエンジンを停止させ、エンジンが冷えてから行ってください。また、スパークプラグからプラグキャップをはずしてください。
 - ・停止直後やプラグキャップを付けたままですと、やけどや不用意な始動による事故の原因になります。
7. 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になる恐れがあります。
8. 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
 - ・けがの恐れがあります。
9. 袖や裾の締まりのよい服装をしてください。また手ぬぐいやタオルを首から下げ作業しないでください。
 - ・回転部に巻き込まれけがの原因になります。
10. 雨上がりなど足元が滑りやすい場所では、使用しないでください。また常に足元に注意し、バランスが保てる無理のない姿勢で使用してください。
 - ・転倒してけがの原因になります。
11. 長時間ご使用にならないときは、燃料タンクやキャブレター等から燃料を全部抜いてください。また、保管は、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所にしてください。
 - ・事故の恐れがあります。
12. エンジン製品の修理は専門店に依頼してください。
 - ・修理は必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく事故やけがの恐れがあります。



エンジンヘッジトリマの安全上のご注意

・先にエンジン製品としての共通の注意事項を述べましたが、エンジンヘッジトリマとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

1. 本機は、生垣やツゲ・ツツジ等の刈り込みを目的とした機械です。この目的以外には、使用しないでください。
 - ・目的以外で使用されますと、けがや事故の原因になります。
2. 刈刃にひび割れ、欠け、変形などの異常がないことを確認し、異常のあるものは使用しないでください。
 - ・異常があると刈刃が破損し、けがの原因になります。
3. 作動している刈刃に手や顔、衣服などを不用意に近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
4. 枝を手で持った切断作業は行わないでください。
 - ・けがの恐れがあります。
5. ヘッジトリマは両手で確実に保持し、体重が両足にかかるように適当に開いて使用してください。
 - ・確実に保持しないとけがの原因になります。
6. 太い枝などを喰い込んで刈刃が止まった時は必ずエンジンを停止させ喰い込んだ枝を取り除いてください。
 - ・エンジンが回ったままではけがの原因になります。



注意

1. エンジンの始動時は、周囲の人や障害物に十分注意して必ず一人で操作してください。
 - ・エンジン始動と同時に刈刃が動きますので、けがや事故の原因になります。
2. 使用中、機械の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにエンジンを停止させ使用を中止してください。
 - ・そのまま使用していると事故の原因になります。
3. 刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たる恐れのある場所では使用しないでください。
 - ・使用中に刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たると、跳ね返りまたは刈刃が破損し、事故の原因になります。
4. 長時間の作業は、身体に負担がかかります。連続使用は1時間以内に行ってください。また、少なくとも30分以上の休憩をとるようにしてください。
 - ・身体が疲労すると注意力が欠け、けがや事故の原因になります。
5. 運搬時や格納時は刃物カバーを必ず取り付けてください。
 - ・けがの原因になります。また刈刃の損傷防止になります。
6. 注意ラベルがはがれてしまった場合は、新しい注意ラベルを貼ってください。注意ラベルは、お買い求めのマキタ登録販売店またはお近くのマキタ直営営業所にお申しつけください。

注

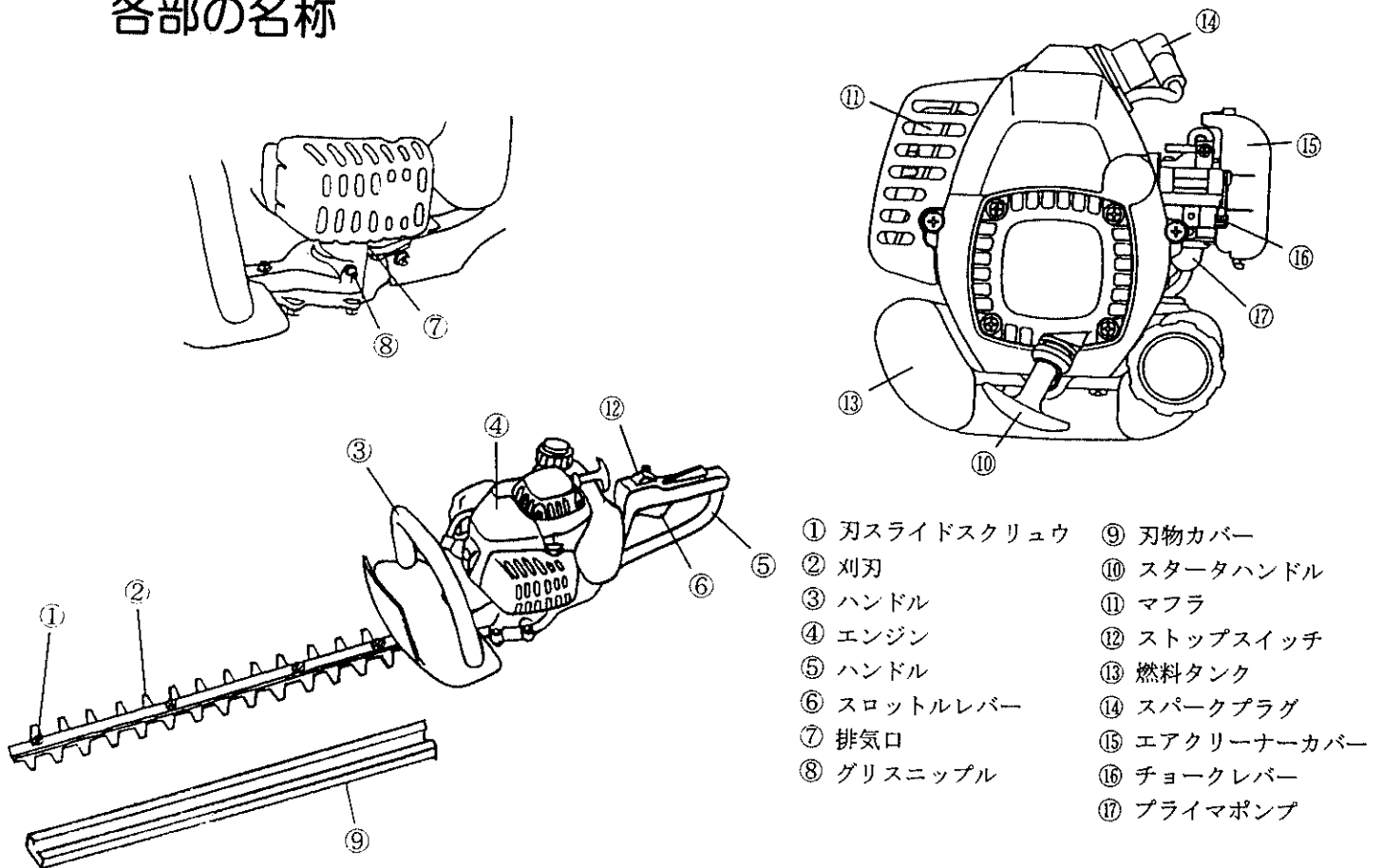
1. 8mm以上の太い枝は切らないでください。
2. 芝生や雑草などを刈り込まないでください。
刈刃に芝生や雑草がかみ込むことがあります。

仕 様

| | | |
|------------------|-------------|-----------------------------------|
| モデル名 | EH451 | |
| 乾燥質量(kg) | 4.4 | |
| 寸法(全長×全幅×全高)(mm) | 964×244×218 | |
| 刈幅(mm) | 450 | |
| エンジン | 総排気量(mL) | 21.0 |
| | 使用燃料 | 無鉛ガソリンと2サイクル専用オイルの混合ガソリン(混合比25:1) |
| | 燃料タンク容量(L) | 0.4 |
| | 気化器 | ダイヤフラム式 |
| | 点火方式 | 無接点マグネット方式 |
| | 点火プラグ | NGK BPM4A 相当品 |
| | 始動方式 | リコイル式(楽らくスタート) |
| 動力伝達部 | クラッチ方式 | 自動遠心方式 |
| 操作部 | エンジン回転制御方式 | 始動ロック付トリガレバー式 |
| 刃物部 | 刃物ガード | 手元ガード |
| | 刃受板 | 無 |
| 標準付属品 | | 刃物カバー、工具一式 |

1. 刈刃、オイル、スパークプラグは、マキタ指定のものをご使用ください。
2. 仕様は都合により変更させていただくことがあります。

各部の名称



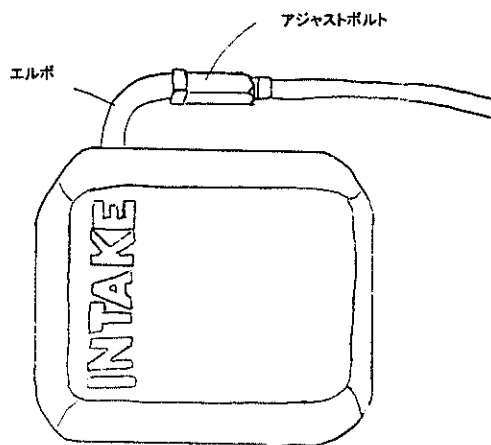
- | | |
|--------------|--------------|
| ① 刃スライドスクリュウ | ⑨ 刃物カバー |
| ② 刈刃 | ⑩ スタータハンドル |
| ③ ハンドル | ⑪ マフラ |
| ④ エンジン | ⑫ ストップスイッチ |
| ⑤ ハンドル | ⑬ 燃料タンク |
| ⑥ スロットルレバー | ⑭ スパークプラグ |
| ⑦ 排気口 | ⑮ エアクリーナーカバー |
| ⑧ グリスニップル | ⑯ チョークレバー |
| | ⑰ プライマポンプ |

使用準備

コントロールケーブルの調整

キャブレタに取付けてあるエルボのアジャストボルトで低速位置にした時に、コントロールケーブルの遊びを調整して下さい。

(アイドリングで刃物が動かないこと)



運転

1. 燃料の給油

警告

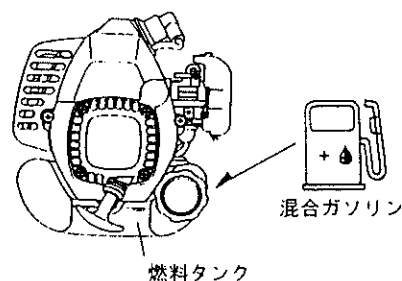
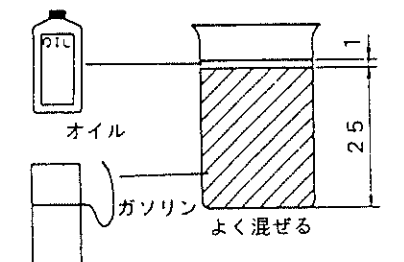
- 燃料の混合および給油をするときは必ず次の事項をお守りください。引火・火災の原因になります。
 - ・火気のない所で行ってください。またタバコを吸ったり、火気を近づけないでください。
 - ・エンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。
 - ・燃料はこぼさないように注意してください。
こぼれたときは、きれいに拭き取ってください。
- 燃料の取り扱いには十分注意してください。
 - ・燃料が肌についたり、目に入ったりすると、アレルギーや炎症の恐れがあります。
体に異常がある場合は、直ちに専門医に相談してください。

注



●燃料の入っている燃料タンクのふたを開けるときはゆっくり開けてください。内圧により燃料が飛び出すことがあります。

●混合ガソリンを給油する前にしっかり混ぜてください。

- ・本機に使用する燃料は、無鉛ガソリンと2サイクル専用エンジンオイルを25：1の割合で混ぜた混合ガソリンです。
- ・無鉛ガソリンに混ぜるオイルの種類や混合する割合が異なると、エンジン不調の原因になりますので必ず指定されたオイルを指定の割合で混合してください。
- ・燃料タンクのふたを開けて、こぼさないように注意しながら混合ガソリンを入れてください。
- ・給油が終わりましたら燃料タンクのふたをしっかり締め付けてください。

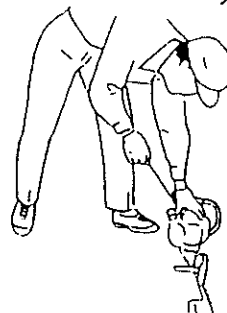
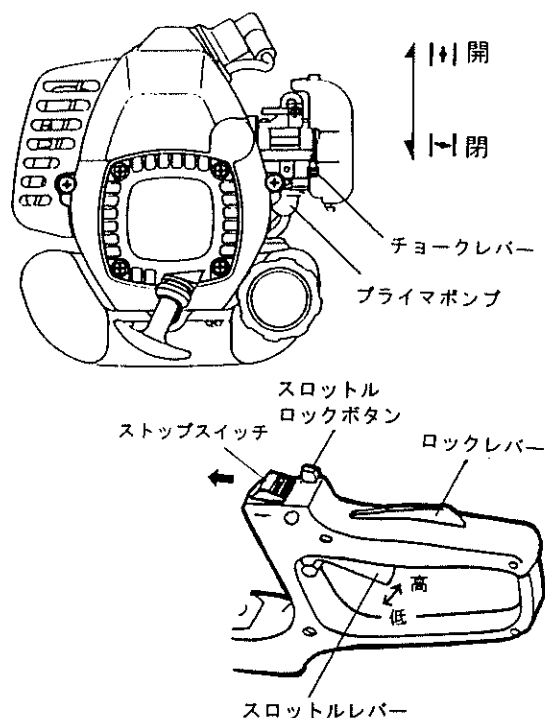


2. 始動方法

| |
|---|
|  警告 |
| <p>●燃料を給油した場所でエンジンを始動させないでください。少なくとも3 m以上離れた所で始動させてください。</p> <p>・引火、火災の原因になります。</p> |
|  注意 |
| <p>●エンジンの始動時は、周囲の人や障害物に十分注意して必ず一人で操作してください。</p> <p>・エンジン始動と同時に刈刃が動きますので、けがや事故の原因になります。</p> |

1) エンジンが冷えている場合または燃料の給油をした場合

- ①本機を平坦な地面の上に置いてください。
- ②ストップスイッチを〔1〕の位置に押ししてください。
- ③燃料がプライマポンプに入るまで、プライマポンプを繰り返し押ししてください。
通常7～10回押せば燃料が上がってきます。
- ④チョークレバーをⅡの位置にしてください。
- ⑤ロックレバーを握り、スロットルレバーをいっぱいに引いてください。スロットルロックボタンを押し込んだまま、スロットルレバーを離してください。
- ⑥本機が動かないように、片手でエンジンを押さえ、腰を十分落として安定した姿勢をとってください。
- ⑦スタータハンドルに抵抗を感じるまでゆっくり引き出してください。
- ⑧抵抗を感じたら勢いよく引き出し、最初の爆発音がするまで繰り返してください。
- ⑨爆発音がしたらチョークレバーをⅢの位置にして、再びスタータハンドルを数回引いて始動させてください。
- ⑩エンジンが始動しましたら、スロットルレバーを引いて、スロットルロックを解除し1～2分間暖機運転してください。
- ⑪エンジンの回転が安定し、低速から高速回転にしたときに滑らかに加速するようになれば暖機運転完了です。

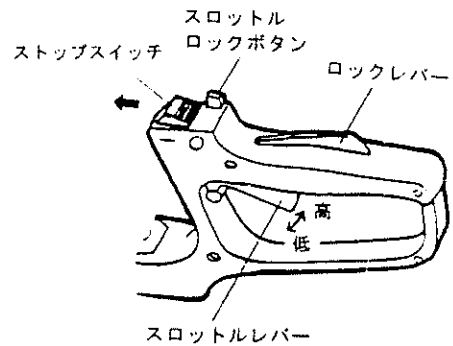


注

- ・チョークレバーをⅡの位置にしたまま、スタータハンドルをいつまでも繰り返し引き続けると燃料を吸い込みすぎて始動しにくくなります。
- ・燃料を吸い込みすぎたときは、スパークプラグをはずしてスタータハンドルをゆっくり数回引いて余分な燃料を出してください。またスパークプラグの電極部を乾かしてください。

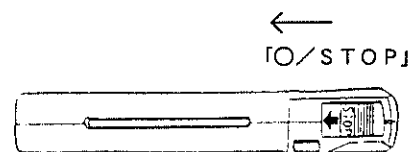
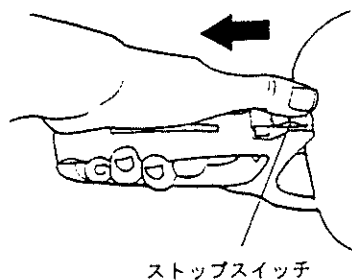
2) エンジンが暖まっている場合

- ① 本機を平坦な地面の上に置いてください。
- ② ストップスイッチを〔1〕の位置に押ししてください。
- ③ プライマポンプを数回押ししてください。
- ④ ロックレバーを握り、スロットルレバーをいっぱいに引いてください。スロットルロックボタンを押し込んだままスロットルレバーを離してください。
- ⑤ 本機が動かないように、片手でエンジンを押さえ、腰を十分落として安定した姿勢をとってください。
- ⑥ スタータハンドルに抵抗を感じるまでゆっくり引き出してください。
- ⑦ スタータハンドルに抵抗を感じたら勢いよく引き出して始動させてください。
- ⑧ エンジンが指導しましたら、スロットルレバーを引いてスロットルロックを解除してください。



3. 停止方法

- ・ エンジンを停止させるときは、スロットルレバーを「低」の位置に戻し、ストップスイッチを「O/STOP」側に引いてください。



刈込作業

正しい作業方法

警告

- 刈刃の進行方向に手を出さないでください。
 - ・ けがの恐れがあります。
- 太い枝などを喰い込んで刈刃が止まった時は、必ずエンジンを停止させ喰い込んだ枝を取り除いてください。
 - ・ エンジンが回ったままでは、けがの原因になります。
- 枝を手で持ったの切断作業は行わないでください。
 - ・ けがの恐れがあります。
- 作業中は、手袋、保護メガネを必ず着用してください。
 - ・ けがの恐れがあります。

注意

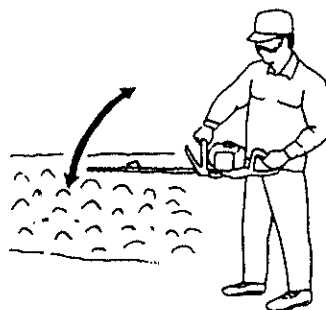
- 刈刃が石や縁石、フェンスなどに当たる恐れのある場所では、使用しないでください。
 - ・ 使用中、刈刃が障害物に当たると、障害物の飛散、機械の跳ね返り、刈刃の破損などにより事故の原因になります。
- 雨上がりなど足元が滑りやすい場所では、使用しないでください。また常に足元に注意し、バランスが保てる無理のない姿勢で使用してください。
 - ・ 転倒してけがの原因になります。

- ・ 8mm以上の太い枝は、あらかじめハサミで刈り込み高さまで切っておいてください。



① 上面刈り

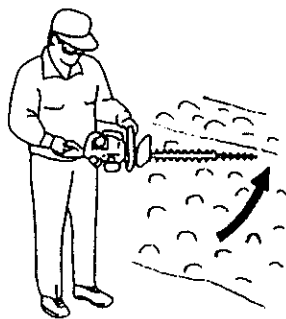
ハンドルを両手でしっかりと持ち、機体を水平に保ち刈刃を刈込む方向に対しやや傾斜させ、体を軸に円弧を描くように進行します。



- ・ 生垣の上端をそろえるには、縄を張ってその上に沿って刈るときれいに仕上がります。

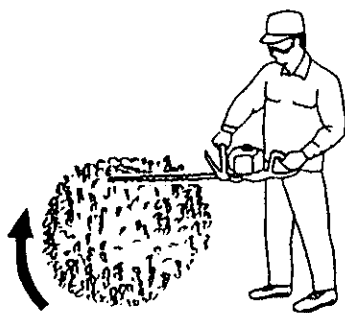
② 側面刈り

機体を垂直に保ち、刈刃を体から出来るだけ離し、下から上へ刈込みます。



③ ツゲやツツジの玉造り

根元の方から玉の頂上に向かって刈り込むときれいに仕上がります。



注

金属製のフェンスなど硬いものをかみ込むと、刃が損傷したり機械が故障しますから十分注意してください。

点検と整備

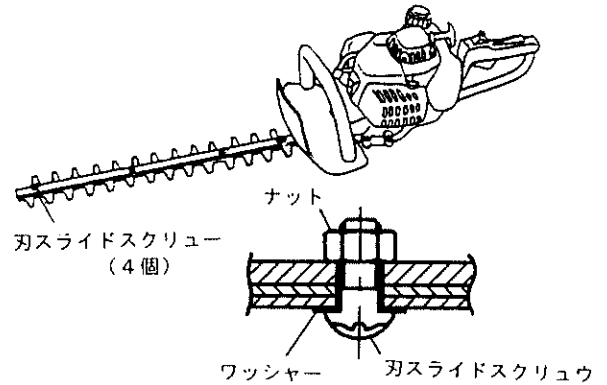
⚠ 注意

- 点検整備するときはエンジンを停止させ、エンジンが冷えてから行ってください。またスパークプラグやプラグキャップをはずしてください。
- ・停止直後やプラグキャップを付けたままですと、やけどや不用意な始動による事故の原因になります。

1. 刃スライドスクリュウの調整

刈跡が悪くなったり、刈刃が磨耗して隙間があるような場合は、刃スライドスクリュウを調整してください。

- ①ナットを緩めてください。
- ②刃スライドスクリュウを一杯まで締め込んだ後、 $\frac{1}{8}$ ～ $\frac{1}{2}$ 回転戻してください。
- ③ナットを締め付けてください。
このときワッシャーに少し遊びが出来るようにしてください。



注

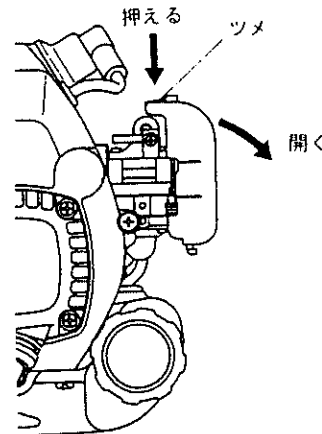
スクリュウを締めすぎると刃が動かない事があります。調整しても、まだ隙間がある場合はスクリュウの戻し量を減らし、再び調整して下さい。

2. エアクリーナの清掃

・エアクリーナが目詰まりすると始動困難になったり、エンジンの回転が上がらない場合があります。

作業終了後には、次の要領で清掃してください。

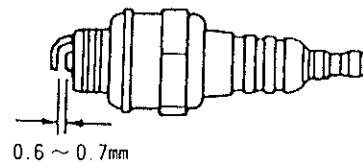
- ①ゴミやほこりがキャブレタに入るのを防ぐために、チョークレバーをHの位置にしてください。
- ②エアクリーナカバーのツメを押さえながら開き、エアクリーナカバーを取りはずしてください。
- ③エアクリーナを取り出して石けん水でよく洗い、よく乾かしてください。
- ④清掃が終わりましたら、エアクリーナとエアクリーナカバーを元通りに取り付けてください。



エアクリーナ エアクリーナカバー

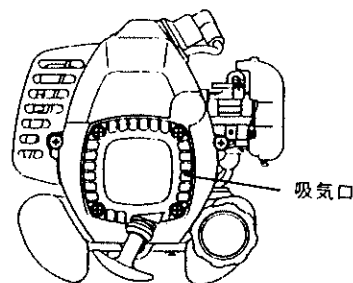
3. スパークプラグの点検

- ・プラグキャップを抜いてスパークプラグをはずしてください。
- ・電極の隙間が0.6～0.7mmになっているか確認してください。もし広がりすぎたり、狭すぎる場合は調整してください。
- ・カーボンが溜まったり、汚れている場合はきれいに清掃してから取り付けてください。
またひどく磨耗したり、焦げているものは新品と交換してください。
- ・交換に際しては、NGK-BPM4AもしくはNGK-BPM4A相当品をご使用ください。
- ・点検後は、プラグキャップをスパークプラグに差し込んでください。



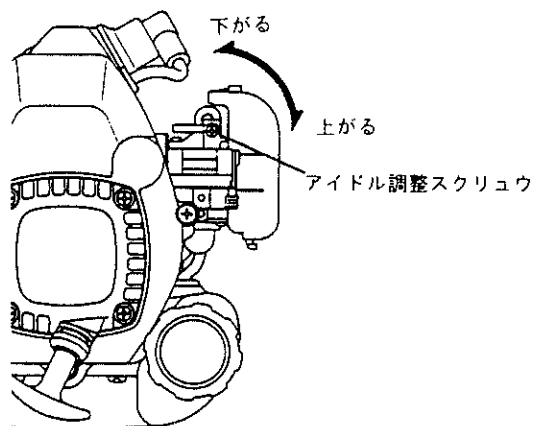
4. 冷却風通路の清掃

- ・吸気口などにゴミが詰まるとエンジンの冷却が悪くなります。時々点検してゴミを取り除いてください。



5. キャブレタ(気化器)の調整

- ・キャブレタは工場出荷時に調整済です。むやみに調整しないでください。もし調整が必要になりましたら、最寄りのマキタ直営営業所にお申しつけください。
- ・アイドルリング時に刈刃が作動するときは、アイドル調整を行ってください。
- ・アイドル調整は、エアクリーナカバー上部の調整スクリウを⊕ドライバにて調整してください。
- ・調整ネジは、右へ回すと回転があがり、左へ回すと回転下がります。



6. マフラ排気出口の清掃

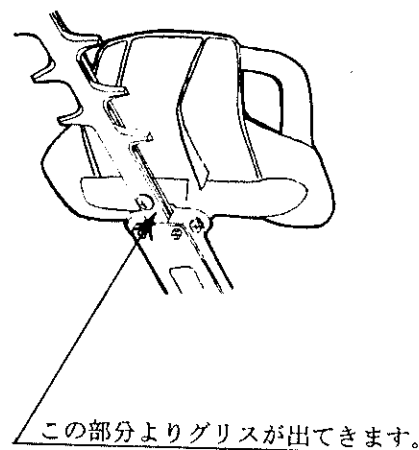
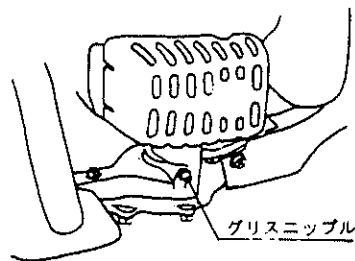
- ・マフラの出口は定期的にチェックしてください。もしカーボンなどが付着し、詰まっている場合には、付属の工具等でカーボンを取り除いてください。

7. グリスの補給

約15時間運転毎にグリスニップルより、グリス（シェルアルバニアNo.2相当）を補給してください。

尚、1回のグリス補給量は約20ccとしてください。

（上記グリス補給を行うと、補給直後の運転にて、ギヤケース先端（刈刃根元部）よりグリスが出てきますので、補給時の目安としてください。）





注

グリスの補給時間、補給量は必ず守ってください。

決められた時間毎にグリス補給を行わなかったり、グリスの補給量が少ない場合グリス不足により機械が故障する恐れがあります。

格納方法

| |
|---|
|  警告 |
| ●燃料を抜くときは、必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから行ってください。 ・停止直後では、やけどまたは引火、火災の原因になる恐れがあります。 |
|  注意 |
| ●長期間ご使用にならないときは、燃料タンクやキャブレタから燃料を全部抜いて、乾燥したきれいな場所に格納してください。 |

- ・次の要領で燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。
 - ①燃料タンクのふたをはずして、燃料タンク内のフィルタを外へ出し、プライマポンプ内の燃料がなくなるまでプライマポンプを数回押してください。
 - ②次に燃料タンクの燃料を全部抜き取り、燃料タンクのふたを締め付けてください。
 - ③最後にエンジンが停止するまで運転させてください。
- ・スパークプラグをはずし、その穴からエンジンオイルを数滴たらしめてください。
- ・スタータハンドルをゆっくり引き、エンジン内にオイルを行きわたらせスパークプラグを取り付けてください。

保守のスケジュール

| | 点 検 項 目 | 点 検 内 容 |
|--------|----------------------------------|---|
| 使 用 前 | エンジン、ねじ、ナット | 損傷と締まり具合の目視検査 全体的な状態と安全度の確認 |
| 給 油 後 | スロットルレバー ストップスイッチ | 機能確認 機能確認 |
| 毎 日 | エアクリーナ 冷却風通路 刈刃 アイドリング時 | 掃除 掃除 損傷と切れ味を確認 確認、刈刃は作動しないこと |
| 約15時間毎 | ギヤケース | グリスの補給 |
| 毎 週 | スパークプラグ マフラ | チェック、必要な場合は交換 チェック、必要な場合は排気出口（テールパイプ）を掃除 |
| 3ヶ月毎 | 燃料フィルタ 燃料タンク | 交換 掃除 |
| 1年毎 | 燃料パイプ | 交換 |
| 2年毎 | 燃料タンクキャップ | 交換 |
| 休業休止時 | 燃料タンク キャブレタ | 空にする エンジンを運転し続け燃料を空にする |

全国に広がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

| 事業所名 | 電話番号 | 事業所名 | 電話番号 | 事業所名 | 電話番号 |
|----------|-----------------|---------|-----------------|----------|-----------------|
| 札幌支店 | 〈011〉(783) 8141 | 足立営業所 | 〈03〉(3899) 5855 | 東大阪営業所 | 〈06〉(6746) 7531 |
| 札幌営業所 | 〈011〉(783) 8141 | 大田営業所 | 〈03〉(3763) 7553 | 関西物流センター | 〈0725〉(46) 6715 |
| 旭川営業所 | 〈0166〉(29) 0960 | 江戸川営業所 | 〈03〉(3653) 5171 | 南大阪営業所 | 〈0725〉(46) 6611 |
| 釧路営業所 | 〈0154〉(37) 4849 | 多摩営業所 | 〈042〉(384) 8411 | 奈良営業所 | 〈0742〉(61) 6484 |
| 函館営業所 | 〈0138〉(49) 9273 | 立川営業所 | 〈042〉(542) 1201 | 橿原営業所 | 〈0744〉(22) 2061 |
| 苫小牧営業所 | 〈0144〉(68) 2100 | 横浜支店 | 〈045〉(472) 4711 | 和歌山営業所 | 〈073〉(471) 4585 |
| 帯広営業所 | 〈0155〉(36) 3833 | 横浜営業所 | 〈045〉(472) 4711 | 田辺営業所 | 〈0739〉(25) 1027 |
| 北見営業所 | 〈0157〉(26) 9011 | 川崎営業所 | 〈044〉(811) 6167 | 沖縄営業所 | 〈098〉(874) 1222 |
| 仙台支店 | 〈022〉(284) 3201 | 平塚営業所 | 〈0463〉(54) 3914 | 兵庫支店 | 〈0794〉(82) 7411 |
| 仙台営業所 | 〈022〉(284) 3201 | 相模原営業所 | 〈042〉(757) 2501 | 三木営業所 | 〈0794〉(82) 7411 |
| 古川営業所 | 〈0229〉(24) 0698 | 湘南営業所 | 〈0466〉(87) 4001 | 尼崎営業所 | 〈06〉(6437) 3660 |
| 青森営業所 | 〈017〉(764) 4466 | 静岡支店 | 〈054〉(281) 1555 | 神戸営業所 | 〈078〉(672) 6121 |
| 八戸営業所 | 〈0178〉(43) 3321 | 静岡営業所 | 〈054〉(281) 1555 | 姫路営業所 | 〈0792〉(81) 0204 |
| 盛岡営業所 | 〈019〉(635) 6221 | 沼津営業所 | 〈055〉(923) 7811 | 広島支店 | 〈082〉(293) 2231 |
| 水沢営業所 | 〈0197〉(22) 5101 | 浜松営業所 | 〈053〉(464) 3016 | 広島営業所 | 〈082〉(293) 2231 |
| 郡山営業所 | 〈024〉(932) 0218 | 甲府営業所 | 〈055〉(276) 7212 | 福山営業所 | 〈084〉(923) 0960 |
| いわき営業所 | 〈0246〉(23) 6061 | 金沢支店 | 〈076〉(249) 5701 | 三原営業所 | 〈0848〉(64) 4850 |
| 新潟支店 | 〈025〉(247) 5356 | 金沢営業所 | 〈076〉(249) 5701 | 岡山営業所 | 〈086〉(243) 4723 |
| 新潟営業所 | 〈025〉(247) 5356 | 七尾営業所 | 〈0767〉(52) 3533 | 宇部営業所 | 〈0836〉(31) 4345 |
| 長岡営業所 | 〈0258〉(30) 5530 | 富山営業所 | 〈076〉(451) 6260 | 徳山営業所 | 〈0834〉(21) 5583 |
| 山形営業所 | 〈023〉(643) 5225 | 高岡営業所 | 〈0766〉(21) 3177 | 鳥取営業所 | 〈0857〉(28) 5761 |
| 酒田営業所 | 〈0234〉(26) 3551 | 福井営業所 | 〈0776〉(35) 1911 | 松江営業所 | 〈0852〉(21) 0538 |
| 秋田営業所 | 〈018〉(863) 5205 | 岐阜支店 | 〈058〉(274) 1315 | 高松支店 | 〈087〉(841) 2201 |
| 宇都宮支店 | 〈028〉(634) 5295 | 岐阜営業所 | 〈058〉(274) 1315 | 高松営業所 | 〈087〉(841) 2201 |
| 宇都宮営業所 | 〈028〉(634) 5295 | 多治見営業所 | 〈0572〉(22) 4921 | 徳島営業所 | 〈088〉(626) 0555 |
| 小山営業所 | 〈0285〉(25) 5559 | 松本営業所 | 〈0263〉(25) 4696 | 松山営業所 | 〈089〉(951) 7666 |
| 水戸営業所 | 〈029〉(248) 2033 | 長野営業所 | 〈026〉(225) 1022 | 宇和島営業所 | 〈0895〉(22) 3785 |
| 土浦営業所 | 〈029〉(821) 6086 | 上田営業所 | 〈0268〉(22) 6362 | 高知営業所 | 〈088〉(884) 7811 |
| 関東物流センター | 〈048〉(771) 3451 | 飯田営業所 | 〈0265〉(24) 1636 | 福岡支店 | 〈092〉(411) 9201 |
| 埼玉支店 | 〈048〉(771) 3462 | 名古屋支店 | 〈052〉(571) 6451 | 福岡営業所 | 〈092〉(411) 9201 |
| さいたま営業所 | 〈048〉(777) 4801 | 名古屋営業所 | 〈052〉(571) 6451 | 北九州営業所 | 〈093〉(551) 3481 |
| 川越営業所 | 〈049〉(222) 2512 | 一宮営業所 | 〈0586〉(75) 5382 | 飯塚営業所 | 〈0948〉(26) 3361 |
| 熊谷営業所 | 〈048〉(521) 4647 | 東名古屋営業所 | 〈0561〉(73) 0072 | 久留米営業所 | 〈0942〉(43) 2441 |
| 越谷営業所 | 〈0489〉(76) 6155 | 知多営業所 | 〈0569〉(48) 8470 | 佐賀営業所 | 〈0952〉(30) 6603 |
| 前橋営業所 | 〈027〉(232) 5575 | 岡崎営業所 | 〈0564〉(22) 2443 | 長崎営業所 | 〈095〉(882) 6112 |
| 高崎営業所 | 〈027〉(365) 3688 | 豊橋営業所 | 〈0532〉(46) 9117 | 佐世保営業所 | 〈0956〉(33) 4991 |
| 両毛営業所 | 〈0276〉(46) 7661 | 四日市営業所 | 〈0593〉(51) 0727 | 熊本支店 | 〈096〉(389) 4300 |
| 千葉支店 | 〈043〉(231) 5521 | 津営業所 | 〈059〉(232) 2446 | 熊本営業所 | 〈096〉(389) 4300 |
| 千葉営業所 | 〈043〉(231) 5521 | 伊勢営業所 | 〈0596〉(36) 3210 | 八代営業所 | 〈0965〉(43) 1000 |
| 市川営業所 | 〈047〉(328) 1554 | 京都支店 | 〈075〉(621) 1135 | 大分営業所 | 〈097〉(567) 3320 |
| 成田営業所 | 〈0478〉(73) 8101 | 京都営業所 | 〈075〉(621) 1135 | 宮崎営業所 | 〈0985〉(26) 1236 |
| 木更津営業所 | 〈0438〉(23) 2908 | 福知山営業所 | 〈0773〉(23) 7733 | 鹿児島営業所 | 〈099〉(267) 5234 |
| 柏営業所 | 〈04〉(7175) 0411 | 大津営業所 | 〈077〉(545) 5594 | 沖縄営業所 | 大阪支店の欄をご覧ください。 |
| 東京支店 | 〈03〉(3816) 1141 | 彦根営業所 | 〈0749〉(22) 6184 | | |
| 東京営業所 | 〈03〉(3816) 1141 | 大阪支店 | 〈06〉(6351) 8771 | | |
| 中野営業所 | 〈03〉(3337) 8431 | 大阪営業所 | 〈06〉(6351) 8771 | | |

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)